

Visual Critical Biography

Eruditio et Passio

第

12

卷

柳宗悦

美信一如

Yanagi Muneyoshi

紀伊國屋書店



21世紀へ贈る人物伝

学問と情熱

紀伊國屋書店ビデオ評伝シリーズ

第2期・全10巻

【推薦のことば】

私の経験では、過去の將軍、政治家、選手の名前を忘れても偉大な学者の名前を忘れることがない。又、英雄たちは何も残さないことが普通だが、学問で世界を変えた人の例は無数にある。

.....ドナルド・キーン

「学問と情熱」シリーズが我々に伝えてくれるこれらの偉人たちの業績と生きざまは、まさに我々をして瞠目せしめるものがあるが、その強烈な感動こそ、日本人が自信と抱負を取り戻す起爆剤となることを信じて疑わない。

.....猪瀬 博

私たちの精神に一番欠乏しているのは情熱なのだ。情熱欠乏症に対する治療法は、汲んでも汲んでもあふれてくる熱き情熱に触れることである。努力もせず癒しばかりを求める現代人に必要なのは、がむしやらかな情熱にまず触れてみることだろう。

.....立松和平

【監修のことば】

.....紀田順一郎

本居宣長は「すべて学問は、はじめよりその心ざしを高く大きに立てて、その奥を究めつくさばやまじと、かたく思ひまうくべし」といった。本シリーズは、まさに高い志を掲げて情熱的に学問の道をきわめた人々の一生を描こうとしたものである。

戦後半世紀を経て、いまや私たちの社会は大きな変動期に直面し、学問も目先の知識や情報を獲得する手段と化している。このような混乱の時代にこそ、学問は揺るぎない指針とならなければならないのに、その人を得ることが必ずしも容易ではない。最も心配なのは、次代を担うべき若い世代が、学問の真の意味を理解できなくなりつつあることだ。

このたび私たちが『学問と情熱』シリーズを企画した所似も、まさにここに尽きるといえよう。学者、文人のビジュアルな伝記集成は、いまだ海外にも例がないと思うが、これらの作品は近代にあって独自の学問的業績をのこした人々が、どのように学問の方針を定め、どのように実践したかを描こうとしている。未だ世に知られない感動的なエピソードを発掘しながら、新鮮な映像感覚をもって綴ったドキュメントである。ご高覧を心からねがうものである。

